

すぬまためんてきちいきほぜんのかい

須沼多面的地域保全の会（大町市）

・組織の活動面積	A=	167	ha
・組織の構成員数	約	120	人

組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) ■	資源向上(長寿命化) ■
取組開始年度	平成26年～	平成26年～	平成26年～

構成員	農家、自治会、子供育成会
-----	--------------

組織の概要

私たちの地域は、長野県北部の標高600m～650mの高地に位置し、北アルプスを源とする豊かな水資源に恵まれ、東部を流れる高瀬川によって形成された扇状地には豊かな水田が集積しております。また昼夜の寒暖差が大きく、質・食味ともに良質な米を生産しています。そして、雄大な北アルプスを背景に育まれる稲作の折々の風景は、見る者の心を癒すに十分な美しさを保っています。

「共に創ろう緑のふるさと、共に深めよう地域の絆～緑豊かな明るい地域づくりをめざして～」

☆米消費者と生産者が交流する活動

現在ではあまり見かけなくなったれんげ草を栽培してお米を育てている農家があります。れんげの花が咲く5月に「れんげ祭り」を開催し、米消費者にれんげの花の説明や有効性などを説明しています。そしてこの田んぼで育てた「れんげ米」を味わってもらって、いつも好評を得ています。地域の小学生やお年寄りも多数このイベントに訪れ、れんげの花の中で遊んだりおしゃべりなどをして交流しています。



☆三世代交流花植え活動

地域の小学生と大人とお年寄りが一緒になって田んぼわきの敷地にサルビアやマリーゴールドや小菊を植えます。大人が小学生に花の植え方を教え、緑の大切さを子供たちに説明します。ポットの苗を運び、穴を掘り、根が折れないように丁寧にポットの苗を植えます。花を植える作業を通して自然と会話が生まれ地域の交流が深まります。